

ガザ南部空爆 30人以上死亡

イスラエル軍

【エルサレム＝共同】イ

スラエル軍は3日、パレスチナ自治区ガザで攻撃を強化し、中東の衛星テレビアルジャジーラによると3日朝の空爆で、ガザ南部のハンコニスとラファで30人以上が死亡した。既にガザ

北部を掌握した地上部隊が南部に侵攻を拡大する準備を進めていたようだ。

イスラエルのネタニヤフ

首相は2日の記者会見で「地上作戦なしに目標を達成できない」と語り、イスラム組織ハマスの掃討に向

け地上作戦を強化する方針

情報筋によると、ハマスの指導者ハニヤ氏は11月、イランに財政支援を要請した。戦闘長期化を貢献えた軍資金確保の動きとみられる。

イスラエル軍は3日、戦

闘機や地上部隊、無人機などでのハマスの武器貯蔵施設や地下トンネルを破壊した

と表明。10月以来、破壊した地下トンネルは500カ所に上るとしている。

ガザ保健当局によると、

北部ジャバリヤの難民キャンプで戦闘が再開した1日

を強調した。

から2日までに100人が死亡。中部テールバラハの難民キャンプでも大きな被害があった。

軍はガザ住民向けに避難

用地図を作成。国連によると、ガザ全体の25%が避難対象に指定された。また、軍はハンコニスの住民に他地域への避難を促すビラをまいだ。住民からは「どうに避難すればいいのか」と困惑の声が上がる。

ハリス米副大統領は2日、記者団を前に「あまりにも多くの罪のないパレスチナ人が殺されている」と懸念を表明。オースティン国防長官は、イスラエルにはガザの民間人保護に「道義的責任」があると強調した。